

**国際交流基金アジアセンター主催**  
**...and Action! Asia#04 映画・映像専攻学生交流プログラム**  
**応募要項**

国際交流基金アジアセンターは、日本を含むアジアの映画・映像分野を学ぶ学生による活発な対話や交流のプラットフォームを構築し、将来的な国際協働の可能性を導き出すことを目的とした「...and Action! Asia 映画・映像専攻学生交流プログラム」を実施しています。4年目となる本年は、2週間のプログラムにて、多国籍のグループワークによる短編映画の共同制作と上映を中心に、ディスカッションや映画関係者によるレクチャーを実施。日本と東南アジアの映画・映像制作を学ぶ学生と教員を対象に、企画公募にて参加者を募集いたします。

## I. プログラム概要

### 1. 趣旨

日本や東南アジアを含め世界ではデジタルでの映画・映像制作が主流となり、比較的容易になったことで、映像制作の裾野が広がっています。これに伴い、海外への映画祭出品や国際共同企画への取り組みなど他国を自ら意識して学ぶ者も増え、国際協働の可能性も広がりを見せています。このような状況を背景に、本事業は、次世代を担う映画・映像を学ぶ学生による協働を通して、国際的な感覚を培う機会を提供し、映像分野における将来的な国際協働に繋がる交流の促進に寄与することを目指します。

### 2. 実施機関

主催：国際交流基金アジアセンター

共催：日本映画大学

協力：全国映画教育協議会

### 3. 日程

平成 30 (2018) 年 2 月 27 日 (火) ～3 月 12 日 (月)

※日程が前後する可能性がございます。日程詳細は参加決定者にのみご案内いたします。

### 4. 場所

東京都内・関東近郊

### 5. プログラム内容

(1) 短編映画の共同制作および上映・プレゼンテーション

共通の主題と制作条件のもと、短編映画の企画を募集し、書類審査で参加者および

採用企画（3本）を決定します。プログラム開始前に、3組の制作チームを構成したうえで、脚本推敲・事前準備を行い、プログラム期間中に完成させます。完成した作品はワークショップ最終日に一般上映し、映画関係者による講評を行います。（完成作は後日、アジアセンターの公式ホームページで公開予定）

### 【映画制作条件】

- ・基本テーマ：以下（1）と（2）のいずれかのテーマより選択すること。
  - （1）「祈り」(Hope)
  - （2）「秘密」(Secret)
- ・尺：10分以内の短編作品であること。
- ・ジャンル：ドキュメンタリー、劇映画、実験映画のいずれか。
- ・撮影地：Skip シティ彩の国ビジュアルプラザ（埼玉県川口市）ほか



- ・制作予算：3万円以内（税込）※撮影に係る施設入場料、取材費、小道具費等を含む
- ・機材：原則、映画の撮影・編集に使用する機材は主催者が提供いたします。但し、オンライン編集可能なパソコンを有する方は各自ご持参ください。また、プレゼンテーションの資料作成に使用するパソコンは各自ご持参ください。

※応募者の希望する役割を考慮し、主催者が学生・教員の制作チームを構成いたします。

後日、採用企画とあわせて各人の配属チームを発表いたします。

#### （2）映画関係者による講義・ディスカッション

日本の映画関係者を講師に迎え、映画分析などのレクチャーやディスカッションを行います。

#### （3）映画関連施設等の見学

#### （4）教員間ラウンドテーブル（非公開）

各校の映画教育やシラバスの共有等、参加校間の意見交換の場とします。

## 6. 使用言語

全プログラムを通して、使用言語は**英語**となります。ご了承ください。

## 7. 参加費

参加費は無料です。国際航空券、現地での宿泊費、食費、プログラム実施に係る費用、海外旅行保険料などは主催者が負担いたします。但し、私的な買い物や本プログラムに無関係な費用等については自己負担となります。

## II. 募集要項

### 1. 募集人数

ア. 映画・映像制作を専攻する学生（大学・専門学校以上）：計 18 名

（内訳）日本：6名、東南アジア：12名（3名×4校）

イ. 大学・専門学校相当の機関にて映画制作を教える引率教員：計 4 名

（内訳）東南アジア：4名（1名×4校）

### 2. 参加資格

学校機関単位で、以下の条件を満たす者の応募とします。

#### （1）参加校について

運営組織としての実体を有し、1年以上の映像・映画制作コースを有する大学、専門学校相当の教育機関で、国際共同製作や文化交流など、国際的な人材の育成に高い関心をもっていること。

#### （2）参加学生について

- ・ 大学、専門学校相当の機関に在籍し、映画・映像制作を専攻していること
- ・ 英語での全プログラム参加が可能であること
- ・ 映像編集ソフトの操作が可能であること
- ・ 自身が制作に参加した映像作品を有すること
- ・ 全てのプログラムに参加可能であること
- ・ 本プログラムの趣旨に賛同し、他参加者との交流・協働に意欲的であること
- ・ 心身健康であること

### 3. 応募方法

#### (1) 応募書類

学校の代表者の方が以下の提出書類2点をまとめてご提出ください。提出書類は、全て英語でのご記入をお願いいたします。

- ・エントリーシート：Entry Application Form (様式A)  
※指導教員による推薦と署名をご記入ください。
- ・映画企画書：Film Plot Form (様式B)

#### (2) 応募締切

平成 29 (2017) 年 11月22日(水) 18:00 厳守

#### (3) 選考結果の通知

選考結果は、12月中旬、代表者連絡先宛にEメールにて通知いたします。ご提出いただきました書類は、原則として返却いたしませんので、ご了承ください。

### 4. 応募先・問い合わせ先

応募書類は、郵送またはEメールにて下記までお送りください。

〒160-0004

東京都新宿区四谷 4-16-3

国際交流基金アジアセンター 文化事業第1チーム

担当：掛谷（かけや）、滝本（たきもと）

電話：03-5369-6140 FAX：03-5369-6141

E-mail：jfac\_film@jpf.go.jp

以上